

2025年度入学者選抜 合否判定の方法及び基準

【短期大学 音楽科】

■総合型選抜

合否判定の方法	アドミッション・ポリシーに基き、学力3要素 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度 をレッスン形式の実技試験、2回の面接、調査書により多面的かつ総合的に評価します。
合否判定の基準	レッスン形式の実技試験40％、2回の面接50％、調査書10％、 の比重で総合的に評価して合否判定をします。 ※出願書類は参考資料とします。

■総合型選抜（社会人）

合否判定の方法	アドミッション・ポリシーに基き、学力3要素 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度 をレッスン形式の実技試験、2回の面接、作文により多面的かつ総合的に評価します。
合否判定の基準	レッスン形式の実技試験40％、2回の面接50％、作文10％ の比重で総合的に評価して合否判定をします。 ※出願書類は参考資料とします。

2025年度入学者選抜 合否判定の方法及び基準

【短期大学 音楽科】

■総合型選抜（留学生）

合否判定の方法	アドミッション・ポリシーに基き、学力3要素 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度 を日本語によるレッスン形式の実技試験、日本語による 2 回の面接により多面的かつ総合的に評価します。
合否判定の基準	日本語によるレッスン形式の実技試験50%、日本語による 2 回の面接50%の比重で総合的に評価し合否判定をします。 ※出願書類（成績証明書含む）は参考資料とします。

■学校推薦型選抜（指定校）

合否判定の方法	アドミッション・ポリシーに基き、学力3要素 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度 を実技試験、2 回の面接、調査書により多面的かつ総合的に評価します。
合否判定の基準	実技試験40%、2 回の面接20%、調査書40%の比重で総合的に評価して合否判定をします。 ※出願書類は参考資料とします。

2025年度入学者選抜 合否判定の方法及び基準

【短期大学 音楽科】

■学校推薦型選抜（公募・吹奏楽部推薦・合唱部推薦・内部推薦）

合否判定の方法	アドミッション・ポリシーに基き、学力3要素 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度 を実技試験、2回の面接、調査書により多面的かつ総合的に評価します。
合否判定の基準	実技試験40％、2回の面接30％、調査書30％の比重で総合的に評価して合否判定をします。 ※出願書類は参考資料とします。

■一般選抜

合否判定の方法	アドミッション・ポリシーに基き、学力3要素 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度 を実技試験（ピアノ専門以外の副科ピアノを含む）、2回の面接、音楽理論（楽典）、調査書により多面的かつ総合的に評価します。
合否判定の基準	実技試験（ピアノ専門以外の副科ピアノ10％を含む）60％、 2回の面接20％、調査書5％、音楽理論（楽典）15％の比重で総合的に評価して合否判定をします。 ※出願書類は参考資料とします。

2025年度入学者選抜 合否判定の方法及び基準

【短期大学 専攻科】

■指定校推薦・内部推薦

合否判定の方法	アドミッション・ポリシーに基き、学力3要素 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度 を実技試験（学内推薦の場合は前期実技試験）、2回の面接により多面的かつ総合的に評価します。
合否判定の基準	実技試験50％、2回の面接50％の比重で総合的に評価して合否判定をします。 ※出願書類（成績証明書、推薦書含む）は参考資料とします。

■一般選抜

合否判定の方法	アドミッション・ポリシーに基き、学力3要素 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度 を実技試験、2回の面接、和声、成績証明書により多面的かつ総合的に評価します。
合否判定の基準	実技試験40％、2回の面接30％、和声20％、成績証明書10％の比重で総合的に評価して合否判定をします。 ※出願書類は参考資料とします。